

仮想アース Crystal E の導入(24)(HP 収載)
—TELEFUNKEN L61—

1. 始めに

前報(23)の JBL4350A に引き続き、スピーカーシステムへの仮想アースの導入について検討していきます。

2. 仮想アースの試聴方法

TELEFUNKEN L61 を駆動している IPC 1029 のスピーカー出力端子に仮想アースを適用してみます。

Brooklyn DAC+→TruPhase→ExPro SV-1→IPC 1029→TELEFUNKEN L61
IPC 1029 から TELEFUNKEN L61 への出力端子には、前報(20)で製作した仮想アースを接続してみました。



音源はアナログ再生とし、アナログ再生系と Brooklyn DAC+には Crystal E を接続済です。

音源は、バッハの *Sonatas & Partitas* とワーグナーのワルキューレと倍賞千恵子のアナログ盤です。

3. 仮想アースの試聴結果

まず、現状のアースなしの状態では聴いておき、ついで仮想アースの効果を確認していきます。

バッハの *Sonatas & Partitas* では、仮想アースを接続しますと、音が澄んで、コーンツイターとは思えないほど、倍音が伸びたように感じます。

ワーグナーのワルキューレでは、仮想アースを接続しますと、オーケストラの分離が向上し、ソプラノやメゾソプラノの声に張りがでて定位が明瞭になってきます。

倍賞千恵子では、仮想アースを接続しますと、前報(22)の EMI DLS529 の場合と同様、声とバックの伴奏の音像が明瞭になり、声に張りがでて歌唱のニュアンスがよ

り鮮明に伝わってきます。

4. まとめ

TELEFUNKEN L61 を駆動している **IPC 1029** のスピーカー出力端子に仮想アースを適用する効果を認めました。

以上